

言語 B 必修科目に関する特別措置（履修免除・単位認定）

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・朝鮮語・ロシア語を必修科目として履修することになった者で、すでに一定の学習歴がある者は、検定試験のスコアをもって、当該言語必修科目の単位を認定し（評価は「認定」とする）、履修を免除する場合がある。希望者は申請期間中に当サイトから申請すること。審査結果については、4月7日（月）11：00に全学共通科目掲示板にて発表するので必ず確認すること。

1. 申請日：4月1日（火）～2日（水）17：00

※申請にあたっては、検定試験の等級またはスコア証明書の画像データ（pdf,jpeg 等）が必要になる。

2. 申請方法：オンライン申請 URL：<https://forms.gle/cZexoYwzTX7g2Lja7>

※「権限が必要です」と表示され、フォームにアクセスできない場合は個人の Google アカウントを一度ログアウトしてからアクセスし直してください。

3. スコア証明書提出について

検定試験の等級またはスコア証明書の原本の画像データを申請フォームから提出すること。スマートフォン等で撮影した画像データも可とする。本学出願時に証明書原本を入学センターへ提出した者で画像データを提出できない者は、申請フォームにてその旨を申告すること。

スコア証明書の提示の不備があった場合は、4月4日（金）15:00 まで再提出を認める場合がある。教務事務センターから個別に連絡をするので、その指示に従うこと。

期間内に有効なスコア証明書の提示ができない場合は、履修免除は認められないので注意すること。

4. 教員相談の案内

原則として必修科目の履修が免除された者は、言語自由科目（第3言語を含む）を履修する。履修を申請する科目を確認するために教員相談を行うので、事前に春学期の履修計画を立てた上で、必ず参加すること。

【対象となる自由科目】※ファイルの信頼性を問うポップアップが出た場合は「OK」をクリックください。

https://spirit.rikkyo.ac.jp/academic_affairs/SiteAssets/yoko/2025/auth/zenkari/FreeEffectiveSubjectList_S.pdf

1) 教員相談時に持参するもの

時間割案、「履修登録状況画面」を印刷したもの

2) 開催場所

別途申請時に通知する。

5. 審査の結果

4 月 7 日 (月) 11:00 に全学共通科目掲示板にて発表するので、必ず確認すること。

※必修科目の履修免除が認められた場合、必修科目を履修予定であった当該時限は空き時間となり、履修登録上限の範囲内で新たな科目を登録できる。ただし、必修科目の登録が削除され、当該時限の履修登録申請が可能となるのは、2 次抽選登録期間 (4 月 7 日 (月) 以降) となるため、履修計画を立てる際には注意すること (空き時間に 1 次抽選登録科目の申請はできない)。

6. 各言語の特別措置申請基準

各言語別の申請基準は下表の通りとする。【言語別申請基準】

言語	申請基準
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験 3 級、2 級、準 1 級、1 級 Goethe-Zertifikat A2, B1, B2, C1, C2 オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 (ÖSD) A2, B1, B2, C1, C2
フランス語	実用フランス語技能検定試験 準 2 級、2 級、準 1 級、1 級 DELF/DALF A2, B1, B2, C1, C2 TCF 250 点以上 (ただし、補足試験のスコアは含めない)
スペイン語	スペイン語技能検定試験 4 級、3 級、2 級、1 級 DELE A2, B1, B2, C1, C2 SIELE 277 点以上 (ただし、comprensión de lectura と comprensión auditiva は 66 点以上、expresión e interacciones escritas は 69 点以上、expresión e interacción orales は 76 点以上とする)
中国語	中国語検定試験 4 級、3 級、2 級、準 1 級、1 級 漢語水平考試 (HSK) 2 級、3 級、4 級、5 級、6 級
朝鮮語	「ハングル」能力検定試験 4 級、3 級、準 2 級、2 級、1 級 韓国語能力試験 2 級、3 級、4 級、5 級、6 級
ロシア語	ロシア語能力検定試験 3 級、2 級、1 級 ロシア語検定試験 Т Р К И 基礎レベル、第 1 レベル、第 2 レベル、第 3 レベル、第 4 レベル

※試験受験時期は、2023 年 4 月 1 日以降とする。

※本学出願時に証明書原本を入学センターへ提出した者は、申請時に申し出ること。

7. 注意事項

免除が認められなかった場合は、正規の必修科目を履修することになる。

以上